

西

国

12

22 (土)

狂言 福の神 善竹 忠重

能 藤戸 友枝 昭世

お話「春の湊の生末」
村上 湛



11

24 (土)

お話「心の距離―花の都と蘆屋の里―」

能 砵 浅見 真州

金子 直樹



平成三十年
大槻能楽堂自主公演能
能の魅力を探るシリーズ

旅

情

10

27 (土)

能 俊寛 浦田 保親

お話「俊寛が流された島」

大森 亮尚



初めてご覧になる方にもわかりやすい解説文(英文解説)もご用意しています

無形文化遺産
NOH KYOGEN
能楽

大槻能楽堂

〒540-0005 大阪市中央区上町A-7

TEL.06-6761-8055 <http://www.noh-kyogen.com>

◎主催:公益財団法人大槻能楽堂

◎後援:大阪府/大阪市/大阪府教育委員会/大阪市教育委員会/公益財団法人関西・大阪21世紀協会



西国旅情

第656回 10月27日(土) 14:00開演 13:00開場

お話 俊寛が流された島 大森 亮尚

休憩20分

能 俊寛 しゅんかん

シテ	俊寛	浦田 保親
ツレ	平判官入道康頼	寺澤 幸祐
ツレ	丹波少将成経	浦田 親良
ワキ	赦免使	福王 知登
アイ	船頭	茂山千五郎

笛		貞光 義明
小鼓		上田 敦史
大鼓		辻 芳昭

後見 赤松 禎友 武富 康之

地謡		大槻 文藏
		齊藤 信隆
		浦田 保浩
		上野 雄三
		山本 正人
		深野 貴彦
		齊藤 信輔
		大槻 裕一

平家打倒を謀った鹿ヶ谷の密議が発覚し、俊寛僧都・丹波少将成経・平判官康頼は、絶海の孤島・鬼界島に流された。成経と康頼が島に勧請した熊野三社を巡礼していると、俊寛が迎えに出てくる。折しも九月九日は重陽の節句とて、三人は水を酒とみなして酌み交わし、互いの不運を慰め合うのだった。そこへ都から赦免使が到着する。ところが、赦免状には俊寛の名だけが記されていない。――

能に限らず様々な名演が伝えられる俊寛のドラマは、役者の個性が如実に表れる演目だ。浦田保親が俊寛の人となり、その心情をいかに表現するか、大いに期待したい。

第658回 11月24日(土) 14:00開演 13:00開場

お話 心の距離・花の都と葦屋の里 金子 直樹

休憩20分

能 砧 梓之出 きぬた あずさのて

シテ	芦屋某の北方	浅見 真州
	北方の亡霊	
ツレ	夕霧	大槻 裕一
ワキ	芦屋某	福王 茂十郎
ワキツレ	芦屋某の従者	喜多 雅人
アイ	下人	善竹 隆司

笛		杉 市和
小鼓		成田 達志
大鼓		守家 由訓
太鼓		前川 光長

後見 大槻 文藏 齊藤 信隆 赤松 禎友

地謡		浅井 文義
		上田 拓司
		山本 博通
		吉井 基晴
		山本 正人
		寺澤 幸祐
		武富 康之
		齊藤 信輔

訴訟のために夫が都へ上って三年。九州・芦屋の里で孤闘を守る妻のもとへ、侍女の夕霧によって、夫の帰国は年の暮になると言伝される。秋の長夜、里人の打つ砧の音が聞こえてくる。心慰めにと夕霧を促し、妻は、我が想いよ夫に届けと砧を打つ。ほろほろ、はらはらはら……。里に響きわたる砧の音が虫の音と交じり、忍び泣きの声と重なった。しかし、夫はこの秋も帰らぬという知らせが届く。――

東京から名手・浅見真州(鏡仙会)をシテに迎え、晩秋を表現し尽した世阿弥渾身の自信作を、地頭と同じく鏡仙会の浅井文義を配した絶好の組み合わせで堪能したい。

第659回 12月22日(土) 14:00開演 13:00開場

お話 春の湊の生末 村上 湛

休憩20分

狂言 福の神 ふくのかみ

シテ	福の神	善竹 忠重
アド	参詣人	茂山 三郎
アド	参詣人	山口 耕道

後見 善竹 忠亮

地謡		岡村 和彦
		前川 吉也
		牟田 素之
		小林 維毅

二人の男が年越しに連れ立って出雲の大社(現在の亀岡市・出雲大神宮)へ参詣し、恒例の豆まきで囃していると、大きな笑い声が出て福の神が現れる。福の神はお神酒を催促し、その酒を酒奉行の松尾大明神をはじめ、日本全国の神々に捧げると、自分も旨そうに飲み干して上機嫌。そこで、福の神が二人に授けた富貴になる心得とは――

独特の可笑しみのある善竹忠重の福の神に、参詣人は五世茂山忠三郎と忠三郎家高弟・山口耕道の顔合わせ。

休憩20分

能 藤戸 ふじと

シテ	漁夫の母	友枝 昭世
	漁夫の霊	
ワキ	佐々木盛綱	殿田 謙吉
ワキツレ	従者	則久 英志
ワキツレ	従者	平木 豊男
アイ	盛綱の下人	善竹 忠亮

笛		竹市 学
小鼓		横山 晴明
大鼓		白坂 信行
太鼓		三島 元太郎

後見 狩野 了一 友枝 雄人

地謡		栗谷 能夫
		出雲 康生
		栗谷 明二
		長島 茂雄
		高林 伸充
		栗谷 金子 敬
		内田 成信

源氏方の佐々木盛綱は、備前の国児島の藤戸の戦の先陣の功により恩賞として当地を賜った。領主として国入りをした日、何かあれば申し出るように触れさせると、ある漁師の母親が現れて、息子を奪われた恨みを訴える。実は、盛綱が先陣の功を挙げられたのは、若い漁師に浅瀬の位置を教えてもらったおかげだったが、秘密が漏れるのを懼れてその漁師を殺して海に沈めてしまったのだ――

『平家物語』の数行の記述と行間からすくい上げられた、戦の理不尽に命を奪われた庶民の慟哭。友枝昭世(芸術院会員・人間国宝)の揺るぎない芸が炸裂するに違いない。

文・石淵文恵

入場料金のご案内 ※入場券は各公演の2ヶ月前の同日付から発売

自由席 ●前売：一般 5,400円・学生 2,700円
 座席指定可 ●当日：一般 5,900円・学生 3,100円

500 WANCoinでマイシート 500円
 前売に追加料金で自由席を座席指定にアップグレード

U-25 25歳以下 (U-25) 当日立ち見券 800円

※自由席券・当日券でご入場の場合は、立ち見のご案内となる場合がございます。ご了承ください。※やむを得ぬ事情により、曲目・出演者・日程等の変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

入場券発売所

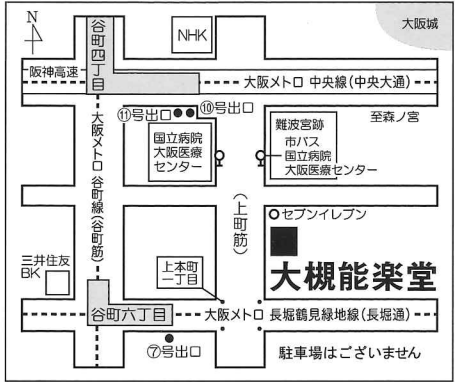
■大槻能楽堂事務局・大槻能楽堂ホームページ

●ローソンチケット Lコード：53874

TEL 0570-084-005 URU t-tike.com

●チケットぴあ ぴあコード：561-119

TEL 0570-02-9999 URU t.pia.jp



交通 ○大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」下車、⑩号出口を出て南へ約300m。(⑪号出口にエレベーター有り) ○又は谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」下車、⑦号出口を出て北へ約350m。(⑦号出口にエレベーター有り)

○市バス「国立病院大阪医療センター」下車南へすぐ。
 ※大阪駅から62号系統「住吉東店前」行乗車。 ※「あべの橋」(天王寺)から62号系統「大阪駅前」行乗車。

※本公演における写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は、著作権・肖像権に触れますのでご遠慮いただきますようお願いいたします。

Unauthorized recording or photography of the performances is prohibited and a violation of copyright. (Thank you for understanding and we hope you will have a good time.)